

鈴鹿スポーツガーデン施設利用促進事業

令和2年度三重交通G スポーツの杜 鈴鹿（三重県営鈴鹿スポーツガーデン）事業報告

令和2年度は、第4期指定管理者の2年度にあたり、指定管理者で提案した事業計画及び本協会が策定した「スポーツ推進計画」に基づき、県営スポーツ施設の役割を果たすとともに、健全な施設運営と県民総スポーツの振興に一層寄与するため諸事業の推進を予定していた。しかし、新型コロナウイルス感染症の拡大により、「全国中学校体育大会」をはじめとする各種大会の中止や無観客による大会開催、加えて本施設主催のスポーツイベントやスポーツ教室等の中止など予定されていたスポーツイベント・競技大会が実施できずスポーツ振興に逆風の年度となった。そのような状況の中、次年度に三重とこわか国体・とこわか大会の開催を控え選手の皆さんが最高のパフォーマンスを発揮できるよう会場整備が着々と進められ、指定管理者としても気持ち良く利用していただけるよう施設・設備の管理・維持に努めてきた。

1 利用の拡大・促進の取り組み

(1) 利用者サービスの向上

① 全施設、下記のとおり営業を行った。

施設名	4月～11月	12月～3月
全施設（水泳場、庭球場、サッカー・ラグビー場、体育館）	9:00～22:00	9:00～21:00

② 休業日を原則月1回(8月は無し)とし、7月と12月に3日間集中的にメンテナンスを行うことで開館日数を増やした。また、各施設において大会開催日であっても大会終了後に可能な限り営業時間内で一般開放を行った。

③ 大会や専用使用時のスムーズな運営を支援するため、利用に関する事前調整及び営業時間前の特別開場を行った。

④ 通常時に来場者アンケートを実施し、施設運営の要望・スポーツ教室等の実施内容について意見を収集した。集約した意見を全職員で検討し、速やかに対応できるものは実行し、施設改修など三重県スポーツ協会グループで対応できない要望については県へ報告した。

⑤ 最寄のバス停留所である「三重交通G スポーツの杜 鈴鹿ぐち」から本施設敷地内へ本協会独自で土曜・日曜・祝日を中心に無料シャトルバスを運行し利用者の利便性の向上に取り組んだ。本年度の利用人数は、合計で764人となっている。

⑥ 指定管理者として削減した経費は、施設整備及び備品整備を実施して利用者へ還元し、営業努力による収支差について全て修繕に充当して施設の健全維持に取り組んだ。

⑦ 新型コロナウイルス感染拡大の影響により令和2年4月2日から5月17日まで全施設休館とした。これにより一般利用・団体利用の中止、主催事業であるスポーツ教室の休講を行った。

(2) 利用促進活動

① リピーターに対するサービスの一環として、プール及び体育館トレーニング室で利用できる定期券の販売を継続して実施した。

② 期間限定サービスの実施

ア 通常の定期券にはない特典付きのウインターパスポートの販売を行いリピーター率の増加を図った。

イ 夏休み及び冬休み期間において、通常期は持ち込みが禁止されている浮輪などは、規定の範囲内での持ち込みを許可し、子どもたちが楽しんでプールを利用できる環境を

提供した。

③ PR 活動の実施

ア 関係自治体に依頼し、イベントスケジュールやスポーツ教室開催等の情報提供を行うとともに、スポーツ教室の折り込み広告を行った。

イ スポーツ指導者講習会及びスポーツ講習会などの一般参加型イベントはホームページや場内に掲出した。

ウ 施設要覧を作成し、関係機関へ配布した。

エ 自治体広報への掲載依頼を積極的に行い地域住民への周知に取り組んだ。

④ スポーツマンハウス鈴鹿との連携により、大会や合宿などにおける利便性を活かしてスポーツの拠点施設としての利用促進を図った。

⑤ 企業の福利厚生施設としての利用として、互助会との提携を行い利便を図った。

⑥ シニア層のテニス愛好者の利用拡大と継続利用のため、シニアテニス大会の運営を支援した。

⑦ ジュニアテニス選手育成のため、クラス別によるテニスアカデミー教室を通年教室として実施した。

⑧ 健康マイレージ制度「マイレージ特典協力店」に加盟し、三重県の健康増進活動への協力を行った。

⑨ ウォーキングコースの案内看板を利用者に使いやすい環境を整えるとともに、クロスカントリーコースの整備を行うなどして県民の健康保持増進に向けたサービスの充実を図った。

2 主催事業

(1) ガーデンカップ

本年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため全ての競技を中止した。

- ① ソフトテニス（小学生）
- ② ソフトテニス（中学生）
- ③ ソフトテニス（高校生）
- ④ ソフトテニス（一般）
- ⑤ ラグビーフットボール（7人制）
- ⑥ 水泳
- ⑦ テニス
- ⑧ フットサル
- ⑨ サッカー

(2) スポーツフェスタ'20

本年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

(3) 指導者講習会

本年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

(4) スポーツ講習会

スポーツに取り組む機会の提供として、スポーツ講習会を実施した。

① クライミング体験会

開催日並びに参加人数：令和2年9月12日（土）4人

内容：クライミングの体験（一般）

② クライミング講習会

開催日並びに参加人数：令和2年9月12日（土）3人

内 容：クライミング講習

③ クライミング講習会

開催日並びに参加人数：令和2年10月3日（土）2人

内 容：クライミング講習

④ ジュニアクライミング体験会

開催日並びに参加人数：令和2年9月26日（土）21人

内 容：ジュニア体験会

⑤ アーチェリー教室

開催日並びに参加人数：令和2年6月13日（土）5人

令和2年7月26日（日）8人

令和2年8月2日（日）5人

令和2年9月26日（土）15人

令和2年11月3日（火・祝）15人

内 容：アーチェリー体験

（5）スポーツ教室

スポーツガーデン内の各施設を活用して多種多様なスポーツ教室を開催した。

開催講座数：通年講座 298 講座、短期教室 43 講座（合計 341 講座）

延べ参加人数：通年講座 22,062 人、短期教室 3,120 人（合計 25,182 人）

新型コロナウイルス感染拡大の影響により緊急事態宣言が立つ令されたことから令和2年4月2日（木）から令和2年5月17日（日）まで全施設休館となったことから主催事業であるスポーツ教室を当該期間休講とした。

（6）スポーツサークル支援

テニスコートの定期利用者の拡大を目的として、サークルの登録制度を設け、使用料の一括精算制度や継続利用のための環境整備を行うなどサークル活動の支援を行った。

サークル登録数：151 団体

（7）ワンポイントレッスン

入場券のみで参加できる、ワンポイントレッスンを通年で実施した。

① 水泳（25m）： 20回 191人

② 水泳（50m）： 32回 243人

③ 水中運動： 9回 30人

（総合計 514人）

（8）着衣泳体験教室

本年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

（9）健康増進事業への協力

三重県と市町が連携して実施している「健康マイレージ制度」（三重とこわか健康マイレージ事業）の普及のために本施設をマイレージ特典協力店に登録し健康増進事業への協力を努めた。

（10）初泳ぎ・初打ち

本年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

3 諸会議の開催

(1) 利用調整会議

競技施設として大会等の円滑な運営に向けて、関係競技団体等の参加のもと、使用期日の調整会議を開催した。

水泳場、庭球場、サッカー・ラグビー場、体育館：令和3年1月27日（水）

(2) 所内会議・主任会議

所内会議・主任会議を原則毎月実施し、年度当初に計画した事業計画進捗度の確認と利用者の皆様から頂戴した苦情・要望に対する対処、施設運営に係る事項について協議した。

4 施設管理

(1) 日常点検

利用者に対して、良質で安全かつ清潔な施設を提供するため、清掃・始業前点検・器具備品点検・施設点検を行い、異常箇所が見つかった場合は施設あるいは器具の使用中止の対応を取り、異常箇所の点検と必要に応じた修理を速やかに行った。

(2) 月次点検

4施設（水泳場、庭球場、サッカー・ラグビー場、体育館）職員による、月次の設備備品の点検を行い、物品数の確認と正常動作の確認を行った。

5 リスクマネジメント

(1) 消防避難訓練

災害発生時を想定した訓練を6月及び12月の場内整備時に職員・業務委託業者を交えて行った。訓練では火災が発生したと想定し、消火用具を実際に用いて消火活動を行った。器具の使用方法を確認することで、実際の現場で使える技術を習得し、職員全員が危機管理意識の再確認と職員のリスクマネジメントに対する認識を強化した。

(2) 危機管理マニュアルの作成

職員・業務委託業者の緊急時連絡体制の整備及び緊急時・災害発生時に備えるための危機管理マニュアルを改訂し、業務委託事業者を含め全職員に配布し緊急時の対応に備えた。昨年度末に新型コロナウイルス感染症にかかる対応マニュアルを追加した。

6 施設整備

(1) 県直轄の施設整備として主に下記の補修・改修が実施された。

全施設：コロナ感染防止対策用送風機3台・サーマルカメラ4台

水泳場：電光表示板更新工事

水泳場：水球システム更新工事

水泳場：飛板更新工事

水泳場：飛込練習台改修工事

水泳場・庭球場：トイレ自動水栓工事

庭球場：屋外人工芝張替工事

サッカー・ラグビー場：メイングラウンド周囲グレーティング工事

(2) 独自整備として自己財源で備品整備並びに補修・改修工事を実施した。

全施設：照明制御中央監視システム部品交換

水泳場：メインプール遮光ラダー修繕

水泳場：防排煙設備修繕

水泳場：スプリンクラー設備修繕

水泳場：女子更衣室点検口修繕

水泳場：地下ドレーンポンプキャッチ弁取替

水泳場：受水槽定水位弁取替

水泳場：ボイラー劣化部品取替修繕

水泳場：プールろ過機混和槽修繕

水泳場：消火栓用ホース取替

水泳場：券売機元号改修費

水泳場：券売機紙幣ユニット交換

水泳場：冷却塔ミズコン用ブロー弁修繕

水泳場：地下中央監視 SUS タンク修理

水泳場：湧水排水ポンプ修繕

水泳場：サブプール温浴槽ジェットポンプ取替

水泳場：外部雨水枘止水壁修繕

水泳場：サブプールオゾン発生装置用除湿装置修繕

水泳場：第2会議室空調機修理

水泳場：スプリンクラー改修工事

水泳場：スプリンクラーアラーム弁更新工事

水泳場：プール浄化槽流量調整ポンプ取替

水泳場：中央監視室排風機整備

庭球場：非常用放送設備スピーカー取替

庭球場：冷温水発生装置修理

庭球場：自動制御機器冷温水発生機用温度調節機器修繕

庭球場：屋外テニスコート人工芝部分修繕

庭球場：テニスコートゲート門扉丁番修繕

庭球場：管理棟2階水道バルブ取替工事

庭球場：管理棟玄関前タイル修繕

サッカー・ラグビー場：空調機器修繕

体育館：アリーナ床修繕

体育館：玄関自動ドア改修工事

体育館：第1駐車場南歩道給水管漏水修理

体育館：空調機修理

体育館：障がい者用駐車場天井修理

(3) 修繕計画の要望

優先順位を定め県へ施設整備の要望を行うために中・長期的整備計画を策定し、担当課と確認しながら修繕を進めた。

7 利用人数及び利用料金収入

年度	施設	利用人数	前年度比較	利用料収入	前年度比較
令和 元年度	水泳場	218,921 人		49,378,300 円	
	庭球場	92,525 人		20,356,150 円	
	サッカー・ラグビー場	110,059 人		9,988,740 円	
	体育館	76,112 人		17,318,660 円	
	合 計	497,617 人		97,041,850 円	
令和 2 年度	水泳場	112,830 人	▲106,091 人	35,935,098 円	▲13,443,202 円
	庭球場	67,115 人	▲25,410 人	17,675,490 円	▲2,680,660 円
	サッカー・ラグビー場	72,728 人	▲37,331 人	12,223,850 円	2,235,110 円
	体育館	31,011 人	▲45,101 人	9,495,976 円	▲7,822,684 円
	合 計	283,684 人	▲215,263 人	75,330,414 円	▲21,711,436 円

◎スポーツガーデンの利用増減及び収支説明

令和元年度から世界規模で感染が拡大した新型コロナウイルス感染症の影響は、令和2年度になっても終息せず緊急事態宣言の発令となった。これに伴い令和2年4月2日から令和2年5月17日まで全施設休館となり一般利用をはじめ団体専用利用等が中止となった。さらに、緊急事態宣言の解除後、全施設感染予防対策を取りながら利用開始を行ったものの一般利用者の減少と各施設で予定されていた大会の多くが中止となった。開催された大会も全てが無観客による実施となった。これにより本年度の利用人数・利用料収入共に前年度を大きく下回ることとなった。

このような状況の中、令和3年度に開催される三重とこわか国体・三重とこわか大会に向けた選手強化合宿に対して三重県スポーツ協会の事業の一環として前年度に引き続き施設利用料を全額免除した。

8 職員研修、その他

- ① 緊急時の対応に全スタッフが心肺蘇生法を行えるよう職員及び委託事業所従事者が心肺蘇生法講習会を受講し、「普通救命講習終了証」の認定を受けた。
- ② 県及び関係機関が開催する各種講習会又は説明会に新人スタッフを中心に派遣し、スタッフの資質向上に努めた。

令和2年度三重交通G スポーツの杜 鈴鹿（三重県営鈴鹿スポーツガーデン）利用人数一覧表

(単位:人)

	水泳場				庭球場				サッカー・ラグビー場							体育館			合計
	専用利用				水泳場 小計	屋外	シェルター	センター	庭球場 小計	メイン	サブ	多目的	会議室	クライング	サッカー場小計	アリーナ	個人 利用	体育館小計	
	メイン	サブ	飛込	会議室															
					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年合計		
4月	45	56	0	56	183	340	0	83	0	83	0	0	0	0	0	0	0	67	490
5月	687	0	0	0	2,778	3,465	1,220	640	22	1,882	24	0	3	302	1,221	0	1,221	6,870	
6月	1,453	845	428	1,808	7,045	11,579	3,237	1,589	195	5,021	67	1,006	30	5,062	2,275	799	3,074	24,736	
7月	3,040	2,430	459	1,570	7,075	14,574	4,008	2,381	190	6,579	190	1,142	0	5,604	3,012	826	3,838	30,595	
8月	1,933	1,039	425	1,175	7,917	12,489	6,514	1,925	289	8,728	126	482	10	10,252	1,982	506	2,488	33,957	
9月	2,143	2,148	427	1,798	6,691	13,207	5,891	2,192	247	8,330	214	934	31	6,883	3,478	552	4,030	32,450	
10月	1,369	2,331	726	1,600	6,021	12,047	4,679	1,996	186	6,861	294	1,022	10	6,784	1,959	657	2,616	28,308	
11月	2,030	1,872	362	1,272	5,403	10,939	5,181	1,643	260	7,084	141	1,129	6	9,087	2,681	574	3,255	30,365	
12月	2,376	657	406	1,001	4,522	8,962	4,459	1,631	253	6,343	148	230	12	6,562	2,174	434	2,608	24,475	
1月	548	704	255	1,291	4,596	7,394	3,089	1,555	228	4,872	122	800	0	4,970	2,050	633	2,683	19,919	
2月	1,312	703	300	1,303	4,619	8,237	3,261	1,527	194	4,982	110	776	0	8,266	1,209	728	1,937	23,422	
3月	1,509	687	820	1,319	5,262	9,597	4,337	1,821	192	6,350	106	963	0	8,956	2,466	728	3,194	28,097	
年合計	18,445	13,472	4,608	14,193	62,112	112,830	45,876	18,993	2,256	67,115	1,542	8,484	102	72,728	24,574	6,437	31,011	283,684	

特記1: 各施設の利用者数には減免利用者を含む

特記2: メインプール電光表示板更新工事により一般開放中止(2月1日～)

特記3: 庭球場屋外コート人工芝張替工事により使用中(11月4日～3月10日)

令和2年度三重交通Gスポーツの杜 鈴鹿（三重県営鈴鹿スポーツガーデン）施設利用料収入一覧

(単位:円)

	水泳場				庭球場						サッカー・ラグビー場						体育館			合計								
	専用利用				個人利用	小計	屋外	シールドター	センター	小計	メイン	サブ	多目的	会議室	クライング	小計	アリーナ	個人利用	体育館小計									
	メイン	サブ	飛込	会議室																	メイン	サブ	多目的	会議室	クライング	小計	アリーナ	個人利用
4月	21,684	14,110	0	4,500	30,380	70,674	0	34,590	0	34,590	0	0	0	0	0	23,090	0	23,090	128,354									
5月	374,920	0	0	0	773,340	1,148,260	362,660	250,165	14,580	627,405	0	91,500	5,640	0	3,690	277,850	0	277,850	2,154,345									
6月	721,150	255,950	267,670	291,900	1,817,860	3,354,530	749,870	588,410	31,390	1,369,670	0	707,540	19,720	62,070	11,680	623,542	122,550	746,092	6,271,302									
7月	933,740	436,780	365,690	407,600	2,109,460	4,253,270	757,550	830,395	40,610	1,628,555	91,780	853,470	25,680	110,085	0	1,134,252	124,100	1,258,352	8,221,192									
8月	840,494	322,250	331,760	249,500	2,505,040	4,249,044	1,422,570	656,245	95,750	2,174,565	407,750	1,101,250	18,160	195,000	2,920	967,285	85,070	1,052,355	9,201,044									
9月	878,400	523,050	324,220	413,900	2,106,280	4,245,850	1,043,430	739,455	72,035	1,854,920	110,350	827,470	35,680	113,820	13,870	976,944	78,900	1,055,844	8,257,804									
10月	837,040	550,940	327,990	307,700	1,718,200	3,741,870	1,157,410	707,550	61,650	1,926,610	21,480	1,047,810	49,140	63,190	7,300	698,277	100,900	799,177	7,656,577									
11月	930,460	491,650	369,460	271,600	1,525,460	3,588,630	1,175,810	582,275	97,900	1,855,985	139,650	1,032,880	32,860	199,060	1,460	948,614	96,190	1,044,804	7,895,329									
12月	452,590	267,270	358,150	446,600	1,167,160	2,691,770	1,006,190	455,305	80,360	1,541,855	107,640	987,560	16,240	73,125	8,300	729,330	59,850	789,180	6,215,670									
1月	284,228	353,560	452,400	540,000	1,723,720	3,353,908	868,400	552,740	71,690	1,492,830	20,880	844,790	14,700	86,140	0	808,818	96,210	905,028	6,718,276									
2月	638,390	219,230	305,370	255,900	773,860	2,192,750	790,790	541,745	46,360	1,378,895	123,380	944,500	12,520	106,060	0	408,088	112,340	520,428	5,278,533									
3月	282,952	227,690	573,040	257,400	1,703,460	3,044,542	1,102,250	633,100	54,260	1,789,610	110,150	1,220,730	35,440	107,740	0	910,836	112,940	1,023,776	7,331,988									
年合計	7,196,048	3,662,480	3,675,750	3,446,600	17,954,220	35,935,088	10,436,930	6,571,975	666,585	17,675,490	1,133,060	9,659,500	265,780	1,116,290	49,220	8,506,926	989,050	9,495,976	75,330,414									

※収入に関する特記

特記1:水泳場電光掲示板使用料はメインプールに含む

特記2:水泳場会議室使用料には冷暖房を含む

特記3:サッカー場サブグラウンド使用料には照明使用料を含む

特記4:体育館アリーナには器具使用料、照明使用料、空調使用料を含む

特記5:サッカー・ラグビー場第3グラウンド人工芝張替工事により令和元年10月1日から令和2年3月14日まで閉鎖

総合競技場施設利用促進事業

令和2年度 三重交通G スポーツの杜 伊勢（三重県営総合競技場）事業報告

令和2年度は、第4期指定管理者の2年目を迎え、指定管理者の提案した事業計画及び三重県スポーツ協会が制定した「スポーツ振興計画」に基づき、県営スポーツ施設としての役割を果たし、県民のスポーツ振興に一層寄与するとともに、健全な施設運営を果たすため下記の諸事業を積極的に推進した。

平成30年に46年ぶりに開催された全国高校総合体育大会に続き、本年度は全国中学校陸上競技選手権大会体育大会、全国教職員相撲大会が予定されていたが、新型コロナウイルス感染症により中止となった。令和3年度には三重とこわか国体・同大会が予定されており、本施設においても陸上競技と相撲競技で会場となっており、それに向けた準備が着実に進んでいる。

1 利用者の拡大・促進の取組

(1) 利用者サービスの拡充

- ① 競技場運営方針・利用目標を設け、職員一同一丸となり利用者の拡充とサービス向上に努めた。
- ② 利用者の立場に立って施設の有効利用、積極的な応対・接遇を行い業務改善・管理運営に努めた。
- ③ 利用(主催)者との大会事前打ち合わせや定期的に利用者説明会を行い、スムーズな大会運営に努めた。
- ④ ご意見箱の設置と利用者アンケートを実施して、利用者の生の声を聞くとともに、要望や意見については、実施可能なものから取り組みを行った。
- ⑤ 陸上競技場の諸室を利用し、新たなスポーツ教室の参加者獲得に努めるとともに、各サークルに呼びかけ、クラブ化への活動支援を行った。
- ⑥ 大会の開催等や繁忙期には、休業日の積極的な開場を行った。
- ⑦ 陸上競技場補助競技場及び投てき場は20時30分までのナイター営業が行えることから、地元陸上競技部にナイター利用を呼び掛けた。また、時期に応じたナイターの時間の変更をした。

(2) 利用促進について

- ① 定期的利用を図るため、伊勢市商工会議所・ライオンズクラブ・観光協会の企業訪問を行い加盟企業の従業員への利用及び福利厚生施設としての働きかけを行った。
- ② スポーツ教室については、新型コロナウイルス感染症拡大防止等により、前期を中止とし、中期・後期の2期とした。また、中期・後期については、ニーズの多い講座の追加、参加者の振り分け等を行い、74講座で実施した結果、986人の受講生となった。
- ③ トレーニングセンター利用者の利便性を図るため、引き続き「1ヶ月券・3ヶ月券」を発行するとともに、スポーツ教室参加者に無料券(1回券)を配布して、トレーニングセンターの体験と利用促進に努めた。

(3) 広報活動について

- ① 近隣市町への広報紙(折込みチラシ)報道機関へ利用状況及びスポーツ教室等の情報提供を行った。
- ② 行事スケジュール(競技場の主な大会一覧)を発行した。(500部×12月)
- ③ ホームページに最新の大会スケジュール及び施設予約状況を提供した。

(4) 職員の研修・視察

- ① 各種講習会・研修会に参加し、職員の資質向上に努めた。

2 主催事業について

- (1) スポーツ教室については、近年の健康管理に対する意識の高まりを受けて、前期（6月～7月）・中期（10月～12月）・後期（1月～3月）の三期に分け111講座を実施する予定であったが新型コロナウイルス感染症拡大防止等により、中期・後期のみの実施となり、986人の参加者となった。
- (2) 第15回総合競技場感謝フェスティバルは、近隣住民やスポーツ愛好家の方々に施設のPRと利用者への感謝等を目的として、また、伊勢市による三重とこわか国体・同大会PRイベントも合わせて実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止等により中止とした。
- (3) 体力測定
トレーニングセンターでは、希望者されるお客様に対しサービスの一環として文部科学省発行の体力テストを個人の目的と体力およびレベルに応じたトレーニングメニューを提供した。
- (4) 第13回三重県営総合競技場杯ミックスタブルスバドミントン団体戦
競技場の冠大会として、施設活用と競技人口の拡大を目的とした大会を実施した。
・期 日：令和2年9月27日（日） 参加者：22チーム133名

3 施設管理・リスク対策について

- (1) 利用者に対し良質な施設環境を提供するため、委託業務による点検に立ち会うとともに、設備の定期点検以外に、巡回目視による危険・不良箇所の点検を随時行った。
- (2) 危機管理マニュアルに基づき、緊急時への迅速な対応、連絡体制を強化した。リスク対策強化として救急講習等に参加し、職員の認識向上を図った。
- (3) 大会や自主事業開催時を想定し、伊勢市消防本部と共同で総合的な消防訓練を実施した。
- (4) テロ対策への講習会及び実施訓練講習会等に参加し、予防の仕方を体得した。また、テロ対策伊勢地区パートナーシップ「みたますキープ制度」モデル事業所として事業を推進した。
- (5) 毎年台風による体育館等の被害が上がっているが、3年前の体育館地下浸水被害の教訓を生かした対応により大きな被害に至ることはなかった。また、落雷による被害が数件発生したが、早急な対応により競技会等への影響を最小限に止めることができた。

4 施設整備

- ・ 体育館駐車場ラインの整備
- ・ 体育館前園路（路側帯）の整備
- ・ 五十鈴公園・体育館前樹木の伐採及び剪定
- ・ 補助競技場周辺の樹木の伐採及び整備
- ・ 補助競技場（三種公認）、投てき場（一種公認）に係る整備
- ・ メイン競技場（走り幅・棒高ピット、やり助走路等）の改修

- ・ テレビ共聴配線工事（招集所、南ゲート）
- ・ 落雷被害に係る改修（陸上競技場照明塔内の電盤機器改修・監視カメラの改修・トイレ呼び出し表示機）
- ・ トレーニングセンター前駐輪場の改修

5 その他

本年度は恒例の第14回美し国三重市町対抗駅伝が2月21日（日）に予定されていたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止等により中止となった。

また、三重とこわか国体のプレイベントとして予定されていた、全国教職員相撲大会及び全日本中学陸上競技選手権大会についても中止となった。

6 利用者数及び利用料収入

年度	利用者数		前年度比較	利用料収入	前年度比較
令和元 年度	競技場	241,965 人		11,485,697 円	
	体育館	93,096 人		16,776,000 円	
	トレーニングセンター	45,550 人		8,667,290 円	
	合 計	380,611 人		36,928,987 円	
令和2 年度	競技場	76,101 人	△165,864 人	6,529,610 円	△4,956,087 円
	体育館	39,943 人	△53,153 人	9,285,510 円	△7,490,490 円
	トレーニングセンター	27,994 人	△17,556 人	5,065,740 円	△3,601,550 円
	合 計	144,038 人	△236,573 人	20,880,860 円	△16,048,127 円

◎ 陸上競技場及び体育館並びにトレーニングセンターの利用増減について

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症により、4月13日から5月17日まで閉館としたため、昨年度と比較すると利用者数・収益ともに減となった。また、年間を通して、同影響による大会の中止、利用のキャンセル、無観客による大会運営等が重なり、利用者数・収益ともに減の影響を受けた。

夏季に予定されていた、全日本中学校陸上競技選手権及び全国教職員相撲大会が中止となり、減収となったが、体育館では個人利用、定例団体の利用等が予想以上に伸びたことで、少しではあるが減収を食い止めることができた。

トレーニングセンターは、昨年度3月から引き続き、本年度も4月～5月は新型コロナウイルス感染症の影響で閉館の措置を取り、利用者数・利用料収入ともに大きな減となっている。

また、営業再開後も、館内清掃・消毒作業のため、営業時間を1時間短縮したことも、減収の一因となっている。

令和2年度 三重交通G スポーツの杜 伊勢(三重県営総合競技場) 利用人数一覧表

(単位:人)

	陸上競技場					体育館				トレーニングセンター	合計	
	陸上競技場	投てき場	補助競技場	多目的広場	会議室	小計	本館	別館	会議室			小計
4月	0	27	960	78	20	1,085	342	519	0	861	0	1,946
5月	0	35	1,295	169	14	1,513	257	894	0	1,151	0	2,664
6月	130	29	4,104	124	198	4,585	1,040	1,454	20	2,514	3,042	10,141
7月	9,238	45	4,334	240	1,481	15,338	1,633	1,814	50	3,497	3,259	22,094
8月	3,437	126	3,810	60	1,203	8,636	1,335	1,570	0	2,905	2,956	14,497
9月	9,231	110	5,345	190	1,236	16,112	2,542	1,520	150	4,212	2,820	23,144
10月	2,141	217	5,417	520	2,457	10,752	3,182	1,797	100	5,079	2,825	18,656
11月	726	206	1,516	273	1,931	4,652	4,169	1,609	60	5,838	2,528	13,018
12月	1,224	6	1,134	200	2,074	4,638	1,863	1,832	70	3,765	2,452	10,855
1月	68	0	78	242	1,367	1,755	1,242	1,353	0	2,595	2,402	6,752
2月	32	0	568	130	1,948	2,678	1,033	1,522	1	2,556	2,701	7,935
3月	315	52	1,354	397	2,239	4,357	3,015	1,905	50	4,970	3,009	12,336
合計	26,542	853	29,915	2,623	16,168	76,101	21,653	17,789	501	39,943	27,994	144,038

令和2年度 三重交通G スポーツの杜 伊勢(三重県営総合競技場) 施設使用料一覧表

(単位:円)

	陸上競技場						体育館				トレーニングセンター	合計
	陸上競技場	投てき場	補助競技場	多目的広場	会議室	小計	本館	別館	会議室	小計		
4月	0	5,000	77,930	15,000	4,160	102,090	98,140	150,360	0	248,500	0	350,590
5月	0	5,570	195,540	23,750	2,080	226,940	107,390	212,770	0	320,160	0	547,100
6月	46,420	6,640	321,120	12,500	21,460	408,140	253,660	296,740	2,640	553,040	527,240	1,488,420
7月	537,390	5,200	342,760	6,250	190,320	1,081,920	595,060	434,360	19,800	1,049,220	579,620	2,710,760
8月	315,370	21,090	336,000	23,750	200,220	896,430	645,380	551,690	0	1,197,070	591,860	2,685,360
9月	667,720	16,910	374,210	17,500	159,020	1,235,360	539,130	419,490	33,660	992,280	452,660	2,680,300
10月	443,780	13,510	380,750	18,750	62,560	919,350	468,480	376,650	19,800	864,930	486,440	2,270,720
11月	162,030	12,320	150,970	20,000	99,920	445,240	718,920	291,260	44,880	1,055,060	520,940	2,021,240
12月	270,810	2,250	73,940	12,500	252,050	611,550	406,720	381,700	21,280	809,700	391,620	1,812,870
1月	6,620	0	10,690	8,750	65,090	91,150	312,490	231,110	0	543,600	444,360	1,079,110
2月	6,800	0	16,260	17,500	134,050	174,610	254,430	279,650	3,520	537,600	533,300	1,245,510
3月	46,350	4,100	82,280	16,250	187,850	336,830	714,480	380,070	19,800	1,114,350	537,700	1,988,880
合計	2,503,290	92,590	2,362,450	192,500	1,378,780	6,529,610	5,114,280	4,005,850	165,380	9,285,510	5,065,740	20,880,860

鈴鹿青少年センター施設利用促進事業 令和2年度 三重県立鈴鹿青少年センター事業報告

令和2年度は、第4期指定管理者の3年目にあたり、指定管理者で提案した事業計画に則り、社会教育施設としての役割を果たすため、各種事業に取り組み、かつ、健全な施設運営を果たすため下記の諸事業を実施した。

なお新型コロナウイルス感染症の感染防止を目的として施設の利用人数を制限し、利用団体のキャンセルも相次いだため受入事業の実績が前年度を大幅に下回った。

1 受入事業

・利用状況（※は指定管理者評価項目）

延利用人数 12,880 人（対前年度△53,047 人）※目標値：73,300 人

一日研修利用人数 8,013 人（前年度比△7,478 人）

延宿泊人数 2,564 人（前年度比△23,317 人）

定員稼働率 2.6% ※目標値：26.5%

団体数 299 団体（前年度△553 団体）

2 利用者の拡大・促進

（1）利用者サービスの充実

- ① 鈴鹿青少年センター運営方針・利用目標を設けて、利用者サービス拡大に努めた。
- ② 利用団体の状況に応じて休業日の営業（4月～11月）を行った。
- ③ 利用者アンケートに基づいて、対応可能な箇所から改善を行いサービスの向上に努めた。

（2）広報及び利用促進活動について

- ① 各種主催事業チラシを独自で作成し、市内小中学校、各市町教育委員会、近隣コミュニティセンター及び鈴鹿、津、四日市の県庁舎へ設置や配布依頼を行うとともに、県政記者クラブへの資料提供を行った。
- ② 当施設のホームページで事業やイベント案内に加え、ブログを通じて主催事業などの活動報告の情報を発信した。
- ③ Go To トラベル事業に登録して、旅行会社を通じた利用の増加を図った。

（3）職員研修

三重県の実施する北勢地域人権啓発セミナー「新型コロナウイルス感染症と人権」に参加した。

（4）その他

①三重まるごと自然体験ネットワークへの参画

平成28年に設立された「三重まるごと自然体験ネットワーク」へ参画し、青少年センターで実施可能な体験活動の情報の入手や主催事業時に所外で活動するプログラムの情報を入手できる体制を確保した。

3 主催事業

（1）創作活動事業

① 実施期日：年間随時（計31回）

② 参加人数：1,909人

③ 内 容：センター利用者の希望に応じて、伊勢型紙や焼き杉などの活動支援を行った。

(2) レッツ親子アウトドア体験

- ① 実施期日：令和2年8月1日（土）
- ② 参加人数：28人
- ③ 内 容：小学生とその保護者を対象にして、夏休みを利用した日帰りの野外炊飯や創作活動を行い、気軽に参加して親子で協力して活動する体験をした。

(3) 単級学級交流会

- ① 実施期日：令和2年10月5日（月）
- ② 参加人数：92人
- ③ 内 容：単級学級校を対象とした交流事業として実施し、他校の生徒とコミュニケーションを図ることをとおして社会性などを身につける場を提供した。

(4) 絆キャンプ

- ① 実施期日：令和2年10月7日（水）
- ② 参加人数：8人
- ③ 内 容：桑名適応指導教室に参加する子どもたちを対象とした日帰りキャンプを共同で開催し、運営をサポートした。

(5) わくわくファミリーキャンプ

- ① 実施期日：令和2年11月14日（土）～15日（日）
- ② 参加人数：30人
- ③ 内 容：小学生とその保護者が、親子で1泊2日の宿泊体験の中で創作活動や野外炊飯等に挑戦して、家族で協力する体験をして親子の絆を深めた。

(6) 大人の学校シリーズⅠ

- ① ウォーキング講座
ア. 実施期日：令和2年11月25日（水）、12月2日（水）
イ. 参加人数：延22人
ウ. 内 容：誰でも気軽に参加できるウォーキングを体験し、正しい姿勢で歩くことの効用を理解して、ウォーキングの習慣化に挑戦した。
- ② 伊勢型紙のカレンダー作り講座
ア. 実施期日：令和2年12月9日（水）、16日（水）
イ. 参加人数：延べ36人
ウ. 内 容：成人を対象とする地域交流事業として、伊勢型紙を彫って2021年のカレンダー作りを体験した。

(7) ウィンター親子 day キャンプ

- ① 実施期日：令和2年12月5日（土）
- ② 参加人数：30人
- ③ 内 容：幼稚園児から小学校3年生とその保護者を対象に、野外炊飯、宝探しラリーに挑戦して、家族で協力して目的を達成する体験をした。

(8) おもしろ自然科学教室

- ① 葉っぱのふしぎ発見
ア. 実施期日：令和3年1月30日（土）
イ. 参加人数：21人
ウ. 内 容：小学校高学年を対象に、身近にある葉っぱを使って実験や標本づくりなど自然や科学の面白さを体験した。
- ② 電気パンを作って電流の動きを学ぼう

ア. 実施期日：令和3年2月7日（日）

イ. 参加人数：24人

ウ. 内 容：小学校高学年を対象に、電流の熱を使ってパンを焼く実験を行って、電気の働きを体験した。

③ 光センサーとトランジスターで電子工作

ア. 実施期日：令和3年2月14日（日）

イ. 参加人数：24人

ウ. 内 容：小学校高学年を対象に、光センサーとトランジスターによってLEDライトを点灯させる電子工作を行って、電子回路の仕組みを体感した。

(9) 大人の学校シリーズⅡ「伊勢型紙を使った色紙・マイバッグ作り」

ア. 実施期日：令和3年3月11日（木）、16日（火）

イ. 参加人数：18人

ウ. 内 容：成人を対象とした地域交流事業として、伊勢型紙を彫って色紙・マイバッグ作りを体験した。

(10) 子ども木工教室

ア. 実施期日：令和3年3月13日（土）

イ. 参加人数：延べ63人

ウ. 内 容：新型コロナウイルスの影響で活動が限られる中でもできる体験活動として、小学生を対象とした木工によりカレンダー作りを実施した。

(11) 親子クイズ&ゲームラリー

ア. 実施期日：令和3年3月27日（土）

イ. 参加人数：延べ185人

ウ. 内 容：コロナウイルスの影響を受けにくい屋外での活動として、隣接する鈴鹿青少年の森を会場にして、親子で気軽に参加してクイズやゲームを体験しながらゴールを目指す事業を実施した。

(12) 親子カヤック体験教室

ア. 実施期日：令和2年6月～10月（計16回）

イ. 参加人数：延べ451人

ウ. 内 容：隣接する鈴鹿青少年の森の道伯池を使って、親子の初心者を対象としたカヤック教室を開催して、自然に触れる機会と親子のコミュニケーションの場を提供した。

(13) 出前・イベント出展等

① 体験活動サポート事業

依頼を受けて職員を派遣し、創作活動の出前事業を行った。

ア. 亀山市立亀山東小学校

実施期日：令和2年10月2日（金）

体験人数：68人

4 施設整備

独自整備分（250万円以上の修繕や長期整備で要望している整備の部分実施等）

① シャワー室給湯配管修繕

5 利用人数及び利用料収入

年度	利用人数			年度	利用人数			前年度比較
令和元年度	施設利用人数			令和2年度	施設利用人数			
	宿泊研修(A)	延宿泊者数	25,881人		宿泊研修(A)	延宿泊者数	2,564人	▲23,317人
		日帰り等 ^{※1}	24,555人			日帰り等 ^{※1}	2,303人	▲22,252人
		計	50,436人			計	4,867人	▲45,569人
	一日研修(B)		15,491人		一日研修(B)		8,013人	▲7,478人
	利用者数(A)+(B)		65,927人		利用者数(A)+(B)		12,880人	▲53,047人
	項目		利用料金		項目		利用料金	
	宿泊料		30,975,172円		宿泊料		2,923,260円	▲28,051,912円
	研修室利用料(宿泊)		1,840,378円		研修室利用料(宿泊)		309,650円	▲1,530,728円
	研修室利用料(日帰り)		1,808,390円		研修室利用料(日帰り)		1,499,480円	▲308,910円
	設備器具利用料		680,500円		設備器具利用料		140,350円	▲540,150円
	合計		35,304,440円		合計		4,872,740円	▲30,431,700円

※1 宿泊利用団体の最終日利用人数及び日帰り利用人数の合計

◎施設利用増減説明

新型コロナウイルス感染症の影響により宿泊利用者数が前年度から **90%以上の減**になった。一日研修は前年度の **50%まで回復**しているが、全体としては、前年度より施設利用料が **3千万円以上の減**となった。その結果、新型コロナウイルス発生前の平成 **30年度から累計4千万円以上の減**になった。

令和2年度 鈴鹿青少年センター施設利用状況一覧表

月	開所 日数	宿泊可 能 日数	利用 日数	施設稼働率	利用団体数	延宿泊者数	宿泊利用率	延利用者数	施設利用率	内1日研修
4月	1	0	0	0.0	0	0		0	0.0	0
5月	12	0	2	16.7	2	0		18	0.4	18
6月	30	29	18	60.0	26	16	0.1	555	5.0	523
7月	31	17	21	67.7	31	98	1.6	1,063	9.3	853
8月	31	30	23	74.2	21	537	4.9	1,279	11.2	266
9月	30	29	16	53.3	21	127	1.2	918	8.3	661
10月	31	31	26	83.9	47	667	5.8	2,748	24.1	1,437
11月	30	30	24	80.0	35	213	1.9	1,882	17.0	1,470
12月	27	25	22	81.5	31	213	2.3	1,420	14.3	961
1月	27	26	17	63.0	22	97	1.0	635	6.4	494
2月	27	26	15	55.6	28	103	1.1	853	8.6	596
3月	30	29	21	70.0	35	493	4.6	1,509	13.7	734
合計	307	272	205	*	299	2,564	*	12,880	*	8,013
平均	25.6	22.7	17.1	66.8	24.9	213.7	2.6	1,073	9.9	667.8

令和2年度 鈴鹿青少年センター利用人数及び利用料金統計表

月	延利用人数	延宿泊人数	利 用 料 金									利用料金 合計
			施 設 利 用 料 金						設備器具			
			宿泊を伴う場合				宿 泊 を 伴 わ な い 場 合					
			宿泊利用	総合研修館	大研修室	研修室・OR室 文化室 創作室	総合研修館	大研修室			研修室・OR室 文化室 創作室	
4月	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0
5月	18	0	0	0	0	0	3,760	0	1,480	100		5,340
6月	555	16	18,890	0	0	0	46,060	14,560	37,740	9,500		126,750
7月	1,063	98	111,600	0	8,960	9,250	37,600	62,720	98,790	25,350		354,270
8月	1,279	537	702,520	17,860	14,000	18,500	29,140	0	28,860	28,200		839,080
9月	918	127	66,040	0	0	0	34,780	29,120	45,140	34,000		209,080
10月	2,748	667	612,260	49,820	0	65,670	43,240	45,360	140,600	6,800		963,750
11月	1,882	213	210,610	940	0	13,690	36,660	47,040	155,400	300		464,640
12月	1,420	213	223,120	9,400	0	7,030	55,460	26,880	124,690	19,050		465,630
1月	635	97	161,090	0	0	0	37,600	29,680	50,320	0		278,690
2月	853	103	72,880	12,220	560	0	58,280	7,840	63,640	13,950		229,370
3月	1,509	493	744,250	43,710	3,640	34,400	50,760	25,200	31,080	3,100		936,140
合計	12,880	2,564	2,923,260	133,950	27,160	148,540	433,340	288,400	777,740	140,350		4,872,740

スポーツマンハウス施設利用促進事業

令和2年度 スポーツマンハウス鈴鹿 事業報告

第76回国民体育大会（三重とこわか国体）、第21回全国障害者スポーツ大会（三重とこわか大会）へ向け、平成30年4月より本協会直営に転換したスポーツマンハウス鈴鹿の利用状況は、令和元年度第3四半期までは比較的順調に推移した。

しかしながら新型コロナウイルス感染症の発生により、令和2年2月頃より利用状況に影響が出始め、同3月にはほとんどの予約がキャンセルされるという事態に陥り、また感染者数の減少が見込めない状況となったため、令和2年4月2日以降の宿泊予約の受付を停止した。

令和2年度に入り、4月7日に東京、神奈川、埼玉、千葉、大阪、兵庫、福岡の7都府県に緊急事態宣言が発出され、4月16日には対象が全国に拡大されたことを受け、4月15日よりスポーツマンハウス鈴鹿に付随する温浴施設「天然温泉 天名乃湯」の営業も停止した。

同月、三重県によりスポーツマンハウス鈴鹿を「新型コロナウイルス感染症の軽症者等に係る宿泊療養施設」（以下、「軽症者施設」という。）として選定され、5月1日から7月31日の間、全施設が三重県に借り上げられることとなり、その間、宿泊・温浴・レストラン等、当施設の全機能を休止した。

8月1日より営業を再開したものの、宿泊利用の回復へ向けた歩みは遅く、再開した8月の月間稼働率は約3.3%であり、その後、年末まで5～17%程度で推移した。

この数字には、学校の夏休み期間に合わせて一部スタートし、10月からは東京都も対象に追加された「Go To トラベル事業」の恩恵もあったが、新型コロナウイルス感染症の再拡大（第3波）に伴い、同事業も順次停止され、令和3年1月に2回目の緊急事態宣言が発出されるに至って再びキャンセルが集中し、同2月の稼働率は0.2%となった。

以上の経緯により、年間の宿泊利用者数については、ここ数年、約1万4千人～約1万6千人で推移してきたが、令和2年度については、約2千人に留まることとなった。

ただし、5月1日から7月31日まで軽症者施設として全施設が三重県に借り上げられたため、利用者数はカウントできないものの、この間は一定の利用収入相当分を確保することができた。

「天然温泉 天名乃湯」については、営業再開した8月の対前年同月比（売上）約50%、9月で同約60%、その後は70%台で推移しており、宿泊利用に比べて、影響は小さい傾向にある。

特に、令和3年3月中旬以降は、近隣温浴施設の廃業や、施設改修に伴う臨時休業等が重なり、入場者数を制限しているにもかかわらず、ほぼ前年並みの売上となっている。

1 支出削減、減収補填の取組

収益の減少をカバーするため、支出削減および減収補填に取り組んだ。

(1) 支出削減

- ・週末、休前日以外の一般予約（スポーツ利用以外）を休止し、宿泊予約のない日の夜勤業務を削減した。
- ・週末、休前日以外のフロント体制を削減した。（原則1人勤務）
- ・委託していた宿泊施設ロビーおよび温浴施設の清掃を直営化して委託費を削減した。

(2) 減収補填

- ・業務削減に伴う休業に対して国の雇用調整助成金を活用した。

2 施設のリニューアルおよび施設名称の変更

三重とこわか国体・三重とこわか大会に参加する全国のトップアスリートに対して快適な宿泊環境等を提供するため、一部のサービスや設備をリニューアルすると共に、施設名称を時代の要請に応じたものへと変更することにより、当施設のアピールに取り組んだ。

(1) レストラン委託先の変更および設備・サービスのリニューアル

- ・外部委託していたレストランについて、軽症者施設に指定されている間は休業となるため、一旦、従前の委託先との契約は解除した。
- ・軽症者施設指定の終了を見据え、改めてレストラン委託先を公募し、四日市市に本社を置く「株式会社ウチャヤマ」を新たな委託先として選定した。
- ・10月より、宿泊者の朝夕食に限り、従来からのバイキング形式ではなくセットメニュー形式でレストランの運営を再開したが、一般客も利用するランチについては、令和3年3月まで休業を継続した。
- ・新年度からのランチ再開に備え、委託先と連携して、感染防止対策として「テイクアウト事業の新設」、「自動キャッシュレス券売機の導入」、「飛沫感染予防対策用アクリルパーテーションの設置」および「壁面クロスの抗菌仕様への張替」等に取り組んだ。
- ・三重県と味の素株式会社が協働で進める『みえ「勝ち飯®」』のノウハウを活かし、委託先とユマニテク調理製菓専門学校（四日市市）が共同で新たなメニューの開発に取り組むこととした。（継続して取組中）
- ・以上の取組を、地域のフリーペーパー等を活用してアピールした。

(2) 宿泊室に高反発マットレス「エアウィーヴ」の導入に向けた準備

- ・東京オリパラ 2020 選手村に採用された高反発マットレス「エアウィーヴ」を宿泊室への導入に向けた準備を行った。

(3) 感染症対策

- ・その他、温浴備品等について、順次、抗菌仕様のものに更新している。

(4) 施設名称の変更

- ・開設当初より、「スポーツマンハウス鈴鹿」として親しまれてきた当施設だが、スポーツ基本法等に示される「差別的取扱いの防止」に配慮し、新たな名称で三重とこわか国体・三重とこわか大会を迎えるため、新名称を公募した。
- ・令和2年10月19日～11月18日の募集期間中に、全国から148件の新名称案が応募され、同年11月26日に開催された本協会の施設管理委員会において、「スポーツガーデン Mie Spo Inn」が選定された。
- ・令和3年3月9日に、新名称公表とともに、4月1日に会長、三重県議会議長、鈴鹿市長等臨席の下、新名称披露式を開催する旨、報道資料提供した。

3 諸会議等、情報共有の取組

職員間の情報共有のための日々の引継のシステム化と月例ミーティングの他、鈴鹿スポーツガーデン、食堂・清掃・施設管理等委託先事業者および近隣地域関係者との打ち合わせを下記により実施した。

- (1) 三重交通G スポーツの杜 鈴鹿との打ち合わせ
 - ・両施設の販売促進のため、随時打ち合わせを実施した。
- (2) 食堂・清掃・施設管理等委託先事業者との打ち合わせ
 - ・利用者へのスムーズなサービス提供を目的に、随時打ち合わせを行なった。
- (3) 近隣地域関係者との意見交換
 - ・随時、施設の利用促進や周辺環境との調和に関する意見交換を行った。
 - ・特に、軽症者施設の受入、源泉塩分濃度の上昇に伴う排水の課題について、集中的に情報共有しつつ、対策を検討した。

4 施設管理

- (1) 日常点検
 - ・良質・安全かつ清潔な施設提供のため、職員と施設管理委託先が協働して、日常の清掃・点検を行い、異常箇所が見つかった場合は施設・機器の使用中止の対応を取り、異常個所の点検と必要な修理を速やかに実施した。
- (2) 定期点検
 - ・専門事業者へ委託し、定期的にエレベーター、温浴関係、空調関係の機器点検を行うと同時に、空気・水質等の環境点検を実施した。
- (3) 一斉点検日（休業日）の設定
 - ・温浴の浄化槽・配管等は、半年間に一度専門事業者の点検・清掃を実施した。また、宿泊棟・食堂棟の機器設備類については、温浴休業日と合わせて全館休業日とし、設備の集中点検を行った。

5 リスクマネジメント

- (1) 危機管理マニュアルの更新
 - ・既存の危機管理マニュアル（火災、地震、台風、不審者、個人情報漏えい、全国瞬時警報システム（J-ALERT）、弾道ミサイル発射時の対応、感染症対策等）を更新した。
- (2) 危機管理訓練
 - ・鈴鹿市消防本部と連携のうえ、消防連絡訓練を実施した。（令和2年12月28日）

6 施設整備

営業開始後10年以上が経過し、改修・交換が必要な設備も増加してきており、優先順位を定めて施設・設備の更新を進めた。

- ・源泉搬送ポンプ制御盤交換
- ・給水配管漏水修理
- ・男子脱衣室トイレ配管交換
- ・男子かけ湯交換
- ・希釈用深井戸新設工事・・・温浴源泉の塩分濃度が、掘削当初に比べて高くなってきており、下流の水田耕作への影響が懸念されるため、最終放流水を希釈して排水する方針とし、希釈用井戸の掘削、汲み上げポンプの設置工事を開始した。（令和3年3月～4月施工、5月運用開始）

7 利用人数及び利用料収入

(1) 宿泊

区分		令和元年度	令和2年度	前年度比
宿泊 人数	スポーツ	9,283人	1,296人	▲7,987人
	一般	2,610人	334人	▲2,276人
	インターネット	1,645人	457人	▲1,188人
	計	13,538人	2,087人	▲11,451人
売上高		66,792,662円	11,563,074円	▲55,229,588円

(2) 飲食

区分		令和元年度	令和2年度	前年度比
朝食	人数	10,233人	1,394人	▲8,839人
	売上高	9,079,750円	1,140,100円	▲7,939,650円
昼食	人数	10,390人	339人	▲10,051人
	売上高	11,915,300円	372,900円	▲11,542,400円
夕食	人数	9,304人	1,238人	▲8,066人
	売上高	16,505,600円	2,066,500円	▲14,439,100円
弁当	個数	8,324個	1,026個	▲7,298個
	売上高	4,959,350円	873,960円	▲4,085,390円
宴会	件数	202人	2人	▲200人
	売上高	906,450円	6,000円	▲900,450円
売上高計		43,366,450円	4,459,460円	▲38,906,990円

(3) 温浴

区分		令和元年度	令和2年度	前年度比
大人	人数	56,833人	26,510人	▲30,323人
	売上高	29,119,750円	14,088,900円	▲15,030,850円
小人	人数	6,061人	2,015人	▲4,046人
	売上高	1,733,600円	602,900円	▲1,130,700円
回数	人数	29,777人	21,502人	▲8,275人
	売上高	15,378,000円	9,278,500円	▲6,099,500円
その他	人数	3,476人	915人	▲2,561人
	売上高	1,689,990円	649,190円	▲1,040,800円
計	人数	96,147人	50,942人	▲45,205人
	売上高	47,921,340円	24,619,490円	▲23,301,850円

(4) 会議室

区分		令和元年度	令和2年度	前年度比
件数		226件	87件	▲139件
売上高		3,078,800円	586,800円	▲2,492,000円

(5) その他

区分	令和元年度	令和2年度	前年度比
売上高	1,481,188 円	68,349,765 円	66,868,577 円

※うち、軽症者施設借上げ料 62,964,000 円

(6) 総売上

区分	令和元年度	令和2年度	前年度比
売上高	162,640,440 円	109,578,589 円	▲53,061,851 円

8 職員研修、その他

(1) 就労環境の整備

月例ミーティング等における意見交換、シフト勤務の公平化等による職員の就労環境の整備に努めた。

(2) 普通救命講習

緊急時の対応に全スタッフが心肺蘇生法を行なえるよう、定期的に心肺蘇生法講習会を受講し、「普通救命講習修了書」の認定を受けている。

令和2年度 スポーツマンハウス鈴鹿施設利用状況一覧表

	宿泊施設 (人)	温浴施設 (人)	会議室 件数	食 事								弁当 個数	宴会 人数
				レストラン (人)									
				朝食	昼食	一般利用	予約利用	夕食	計				
4月	0	1,937	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	45	0
8月	69	3,631	2	0	0	0	0	0	0	0	0	122	0
9月	122	4,348	5	0	0	0	0	0	0	0	0	283	0
10月	411	5,333	9	210	0	0	0	0	0	130	340	62	0
11月	363	5,811	28	234	0	0	0	0	0	152	386	133	0
12月	616	6,475	17	494	76	0	76	0	472	166	1,042	190	2
1月	194	7,152	10	165	169	0	169	0	166	500	0	0	0
2月	7	9,455	6	2	73	0	73	0	68	143	49	0	0
3月	305	6,800	10	289	21	0	21	0	250	560	142	0	0
計	2,087	50,942	87	1,394	339	0	339	0	1,238	2,971	1,026	2	2
令和元年度 計	13,538	96,147	226	10,233	10,390	6,202	4,188	9,304	29,927	8,324	202		
令和元年度 比較	△ 11,451	△ 45,205	△ 139	△ 8,839	△ 10,051	△ 6,202	△ 3,849	△ 8,066	△ 26,956	△ 7,298	△ 200		

松阪野球場 施設利用促進事業

令和2年度 三重県営松阪野球場事業報告

令和2年度は、指定管理者で提案した事業計画及び本協会が制定した「スポーツ振興計画」に基づき、県営スポーツ施設としての役割を果たすとともに、健全な施設運営と県民総スポーツの振興に一層寄与するため、下記の諸事業を実施した。

1 利用者の拡大・促進

(1) 利用者サービスの向上

- ① スコアボードの電光掲示板工事を行い、本部席での2台のパソコン操作による自動化が可能となった。また、当初予定していなかったスピードガン表示について、多数の要望があり、取り付けることとなった。また、メインスタンドにもBSO機器を取り付けた。これにより、これまで夏の暑い中、スコアボード内での手動の操作や選手名の手書きの作業などが不要となった。
- ② 各種大会の円滑な運営を支援するため、本来の開館時間前の開場(特別開場)を行うとともに、一般開放を可能な限り行えるよう、利用団体による利用調整会議を開催し、利用調整を図った。
- ③ 大会等のスムーズな運営を支援するため、大会規模に応じて利用時間を前倒し、あるいは日没まで時間延長を行った。また雨天順延による大会予備日などは休業日開場(特別開場)で対応を行った。
- ④ 良好な球場環境を保つため、職員で外野後方のフェンス修理、グラウンドに発生した溝修復などを行い、より良い環境でプレー出来るよう、グラウンド整備を行った。
- ⑤ 中部台運動公園利用者への利便性の向上のため、野球場のトイレを休業日以外は常時開放した。
- ⑥ オンライン予約システムにより、県内外の球場利用者への利便を図った。

(2) 利用促進

- ① 平日の施設利用拡充のため、近隣中学校の放課後のクラブ活動(野球部)に対して、利用料と利用時間の便宜を図り、利用拡大に努めた。
- ② 野球場の在り方について、県高野連や利用団体関係者と意見交換を行った。

(3) 広報活動

- ① 当野球場ホームページにより、オンラインでの予約や空き状況などの情報を発信した。利用者への広報活動の一つとして、パンフレットを窓口配布や利用料金精算時に利用者へ直接配布した。
- ② 毎月中旬に、翌月の利用予定を地元新聞社へ情報提供を行った。
- ③ 当野球場で行われた大会結果を野球場ホームページに掲載し、利用状況のPRに努めた。

2 主催事業

例年実施している松阪野球場杯松阪地区中学校野球選手権大会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止とした。

また、スポーツレクリエーションフェスティバルは、スコアボード改修工事の期間中であつたため、今年度は実施しなかった。

3 施設管理・リスク対策

- (1) 中部台運動公園内に位置する当球場は、円滑な施設運営を行うため、同公園を管理する松阪市との連携が不可欠であり、常に公園全体の課題や日常業務の諸問題について、情報を共有し、安全な施設運営に取り組んだ。
- (2) 野球場を利用者する方々に良質な施設環境を提供するため、業務委託の業者点検への立ち会いと設備の定期点検をはじめ、職員の巡回目視による危険・不良箇所の点検を随時行った。
- (3) 危機管理マニュアルに基づき、緊急時への迅速な対応、連絡体制の徹底を行った。
- (4) 設備の小修繕等については、地元のシルバー人材センターに登録している方々を活用し、雇用の促進と高齢者の活用を図った。
- (5) 昨今の天候急変による施設利用者の被害を未然に防止するため、特に夏季における雷注意報発令時については、利用団体への情報提供を速やかに行い、注意報発令時には施設内に退避を促すなど事故防止に努めた。また、冬季などには、気温低下による肉離れ等の事故・ケガ防止に努めるよう利用者へ注意喚起を行った。
- (6) 応急処置用の常備薬・救急用品の点検・不足品は補充を行った。
- (7) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ガイドラインに従い、球場利用者や業者に対して、当日朝の自宅での検温、または球場検温器での検温、球場入口での手指消毒、運動時以外のマスク着用、三密の回避、などの協力を求めた。また、利用団体の責任者には、参加者名簿の作成・所持を求めた。
- (8) 各部屋の机・椅子・ドアノブ、両側ベンチの椅子、バックスタンドの椅子など、定期的に消毒した。

4 施設整備

- ・年間を通じての芝生管理
- ・不陸修正工事(6月及び3月)の実施
- ・防球ネットへの損傷予防のための三塁側外側の樹木剪定
- ・放送設備、スコアボード保守点検
- ・浄化槽・消防設備保守点検及び浄化槽漏水修繕工事
- ・浄化槽上付近への車両進入禁止の柵の設置
- ・消防設備機器不良箇所等修理(独自財源)
- ・雨天後のグラウンド内側溝の泥の除去(職員対応)
- ・外野後方の側溝への落葉等落下防止用竹の設置(職員対応)
- ・ポンプ室の点検及び配管修理
- ・球場出入口への禁煙プレートの取り付け
- ・本部席ドア鍵の取替
- ・その他メインスタンドベンチの修理など

5 利用者数及び利用料収入

年度	利用者数	前年度比較	施設利用料収入	前年度比較
令和元年度	50,970人		1,635,210円	
令和2年度	7,564人	△43,406人	351,400円	△1,283,810円

○ 施設利用者数・利用料の増減について

スコアボード改修工事に伴い施設の閉館期間が発生したこと及び新型コロナウイルス感染症の影響による施設の利用中止や無観客での開催などを受け、施設利用者数、施設利用料収入ともに大幅減となった。

令和2年度三重県営松阪野球場利用一覽

三重県営松阪野球場		
月	利用人数	利用料金
4月	20人	2,800円
5月	28人	10,500円
6月	140人	11,900円
7月	2,340人	39,200円
8月	1,850人	98,700円
9月	1,030人	46,900円
10月	886人	72,800円
11月	940人	21,000円
12月	0人	0円
1月	0人	0円
2月	0人	0円
3月	330人	47,600円
年合計	7,564人	351,400円

特記1: 施設の利用者数には減免利用者を含む